

授業科目 法学

|                 |      |    |       |    |
|-----------------|------|----|-------|----|
| 【担当教員名】<br>梶原洋生 | 対象学年 | 1  | 対象学科  | 社会 |
|                 | 開講時期 | 前期 | 必修・選択 | 必修 |
|                 | 単位数  | 2  | 時間数   | 30 |

【<概要>又は<一般目標：GIO>】

本講義では、まず法の基礎概念を学習する。ここから法の体系と法の実相について学ぶ。福祉（ケア）との関係に配慮しつつ、法の世界の特徴を体験し今日の社会における法の作用と機能とを身近に把握していく。これらを通じて法の思考を深めるとともに、実体的な考察の窓口を作る。特に、人権理論を学びながら国法体系の構成を習得することで、市民社会の「見方」を身につける。さらには医療福祉の現況を法の側面から理解する。

【<学習目標>又は<行動目標：SBO>】

1. 法システムを理解する。
2. 憲法を理解する。
3. 民法を理解する。
4. ケース・スタディを進める。
5. 法的な思考から理論構成を行なう。
6. それらを通じて、福祉職に必要な事柄を理解する。

| 回数 | 授業計画又は学習の主題       | SBO |                    |
|----|-------------------|-----|--------------------|
|    |                   | 番号  | 学習方法・学習課題又は備考・担当教員 |
| 1  | 法学への取り組み（受講上の留意点） |     | 講義                 |
| 2  | 社会生活の営みと法         |     | 講義                 |
| 3  | 私生活の営みと法          |     | 講義                 |
| 4  | 国家と法              |     | 講義                 |
| 5  | 法の基礎概念と人権理論       |     | 講義                 |
| 6  | 日本国憲法の全体像とその作用    |     | 講義                 |
| 7  | 基本的人権の保障：ケーススタディ  |     | 講義                 |
| 8  | 統治の仕組みと判例         |     | 講義                 |
| 9  | 司法と福祉             |     | 講義                 |
| 10 | 民法の全体像とその作用       |     | 講義                 |
| 11 | 民法総則              |     | 講義                 |
| 12 | 物権と債権             |     | 講義                 |
| 13 | 家族関係と法            |     | 講義                 |
| 14 | 医療福祉の現況と法（まとめ）    |     | 講義                 |

| 【使用図書】            | <書名>   | <著者名> | <発行所> | <発行年・価格・その他> |
|-------------------|--|-------|-------|--------------|
| 教科書<br>(必ず購入する書籍) | 『社会福祉士養成講座12・法学』、福祉士養成講座編集委員会、中央法規、最新刊<br>『社会福祉小六法』、ミネルヴァ書房編集部、ミネルヴァ書房、最新刊 |       |       |              |
| 参考書               | 『介護の法律入門』、梶原洋生、インデックス出版、2006<br>その他、適宜紹介する。                                |       |       |              |
| その他の資料            | 『新版 医療と福祉の法律学』、梶原洋生、インデックス出版、2002<br>その他、適宜紹介する。                           |       |       |              |

|                           |           |
|---------------------------|-----------|
| 【評価方法】<br>出席点、平常点、試験点による。 | 【履修上の留意点】 |
|---------------------------|-----------|

全科共通科目  
教養